

‘ひめの凜’の適期収穫のための技術資料

令和6年9月17日(火)

愛媛県農林水産部農業振興局農産園芸課

夏期の高温により、出穂が昨年より早まっております。‘ひめの凜’はこれから収穫期を迎えますが、今後も高温が続き、成熟期が早まることが予想され、刈り遅れによる品質、食味低下が懸念されます(表1)。

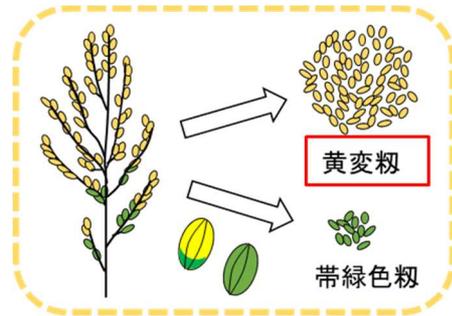
適期になったら速やかに収穫、乾燥調製できるように、成熟期を予測のうえ、計画的に準備を進めましょう。

1 成熟期予測

出穂後日数や積算温度等により各ほ場の成熟期を推定のうえ、ほ場にて最長稈黄変籾率や籾水分率を測定し、最終的な刈取日を決

[成熟期の目安]

出穂後日数	37～43日
積算温度	930～1,000℃
収穫時の籾水分率	25%
最長稈黄変籾率	85%～収穫開始



$$\text{最長稈黄変籾率(\%)} = \frac{\text{黄変籾数}}{\text{全籾数}} \times 100$$

2 事前準備

(1) ほ場準備

登熟期の水管理は湿潤気味の間断かん水を基本とし、落水は「収穫の7日前」から行う。

- ▶ 落水後も、高温により田面が乾燥するようであれば、走り水程度のかん水を行う。
- ▶ 中干し不十分、排水不良等、地耐力が低いほ場は、コンバイン作業に支障をきたすため、ほ場の中や周辺に排水溝を設けておく。

(2) 機械準備

早めにコンバインや乾燥機等の事前点検、整備を行っておく。

3 ムレ米の防止

収穫後の生籾を、高温下に長時間積み置くと、ムレ米が発生し品質が低下するため

- ▶ 各ほ場の刈取適期、刈取面積、機械能力、天候を考慮のうえ、作業計画を作成し、計画的に作業を行う。
- ▶ コンバイン収穫後の生籾は、4時間以内に通風乾燥するか、共同乾燥調製施設に搬入する。

<参考>

表1 ‘ひめの凜’の移植日別の成熟期(予想) 地点:松山市上難波、9/12 時点

	移植日									
	5/22	前年 差 (日)	6/3	前年 差 (日)	6/14	前年 差 (日)	6/21	前年 差 (日)	6/28	前年 差 (日)
出穂期	8/19	-2	8/22	-2	8/28	-1	8/31	-2	9/6	-1
出穂後日数 (日)	36		36		37		38		39	
積算温度 (°C)	998		992		989		994		994	
成熟期 (予想)	9/23	-3	9/26	-3	10/3	0	10/7	-2	10/15	-1

- ・出穂期は昨年より1～2日早い。
- ・成熟期は昨年より1～3日早い。

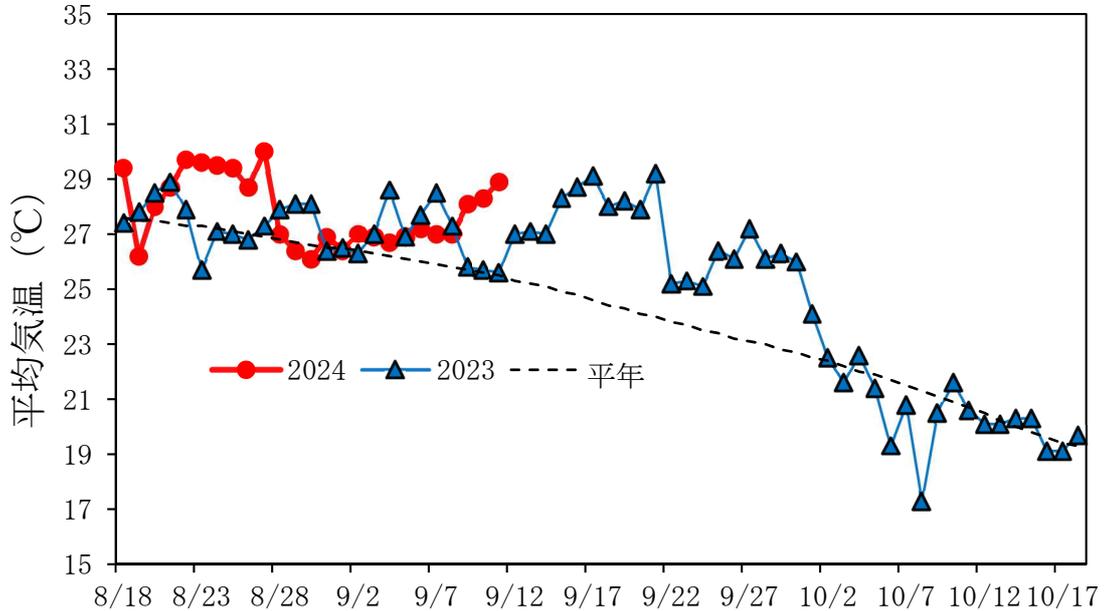


図1 ‘ひめの凜’の出穂期以降の平均気温の推移

気象庁アメダス(地点:松山南吉田)、平年値は1980年～2020年の過去30年分。